

# にぎおかの住民ふくし

第14号  
平成31年4月1日  
発行  
賑岡町社会福祉協議会  
会長 箭子 照代司  
(大月市社協内)  
電話 23-2001

## 平成30年度赤い羽根 共同募金運動

### 皆様のご協力

### 誠にありがとうございました!!!

赤い羽根の募金活動は、まちの人のやさしい気持ちを集める活動です。あなたのやさしさが、あなたの声かけが、あなたの行動が、きつと、まちを変えていくはじめの一步となるはずですよ。もっと、もっと、良いまちになりますように。

(平成30年10月1日～12月31日)

全国的に毎年恒例となっている赤い羽根共同募金運動が、今年度も10月1日～12月31日まで実施されました。今年度はあいにくの台風により各駅での街頭募金運動は中止となつてしまいましたが(写真は過去の様のご協力によってたくさん募金が集まりました)。

募金は、民間の地域福祉を支える活動に使われています。具体的には、ふれあいいきいきサロンの運営や市内各地区老人憩いの家備品整備及び修繕事業、子どものあそび場整備事業などに使われているほか、友愛訪問事業やボランティア育成事業など、大月市内の地域のための事業から障がい者作業所などの社会福祉

施設の整備・改修まで、様々な民間社会福祉活動を支援しています。特に、賑岡地区社協で実施している、助けあいメッセージボードや地域見守りマップの推進をはじめ、各事業にも、この共同募金が充てられています。

賑岡地区では毎年、区長さんや自治会長さんに取りまとめていただき、平成30年度も皆様にご多大なご協力をいただきたく中で七二二、五四二円もの募金が集まり、充実した運動とすることができました。ありがとうございます。この赤い羽根の募金活動は、人のやさしい気持ちを集める活動です。

賑岡地区住民の皆様、今後とも、よろしくお願ひします。



#### ●平成30年度の募金額について

募金種別	金額	募金者
戸別募金(世帯)	613,000円	1,129世帯の地域の皆様
大口募金(企業等)	100,000円	(株)龍美建設・賑岡診療所・矢貝商事 (株)WIZnet・(株)平井製作所・ (有)八光社・シミズ光機(株)・福祉工房・ (株)ナガオカ精密・山の都福祉会・(株) 大月自動車学校・(株)卯月林業 (順不同・敬称略)
募金箱設置	9,542円	(株)大月自動車学校・賑岡診療所・福祉工房・山口館・森屋荘・山の都福祉会 (順不同・敬称略)
募金額合計	722,542円	



赤い羽根共同募金

### 共同募金事業における小学生との協働作業を行ないました

10月26日(金)、大月東小学校敷地内において、恒例となっている大月・真木地区社協と大月東小学校との協働事業として、プランターの花植え作業を行ないました。プランターには大月東小学校6年生の描いた地域への想いなどのメッセージで彩られ、綺麗な花をさらに引き立ててくれています。このメッセージ付きのプランターですが、大月商店街を中心に、賑岡地区、大月地区の商店や医療機関、福祉施設などに募金箱とともに設置しています。(募金箱は12月末に回収しました)

また、そのプランターへの水やりにご協力いただいている皆様、ありがとうございます。

#### ●賑岡地区に対する、主な共同募金の使い道

募金年度	事業年度	地区	事業内容
22	23	ゆりヶ丘	老人憩いの家 座卓テーブル整備
23	24	岩殿	老人憩いの家 屋根塗装
24	25	西奥山	老人憩いの家 カーペット張替
25	26	石動団地	集会場 カーペット張替
26	27	浅利団地	集会場 ガス給湯設備等
27	28	①強瀬②上畑倉	①、②ともに老人憩いの家畳整備
28	29	①浅利②日影	老人憩いの家 ①畳整備②椅子等
29	30	①下畑倉②東奥山	老人憩いの家①放送機器②畳整備
30	31	①神倉②ゆりヶ丘	①災害時用毛布②集会場照明整備

### 助けられ上手な人になる!!!

#### ～近所同士の助けあいを推進しています～

賑岡地区社協では、助け合い・支えあい啓発のためのポスターを作成しました。現在、各区の公民館・集会所などに掲示していただいております。人が困ったときに誰を頼るのか?…出かける際に、「留守をよろしくね!」などと昔はお願いして出かけたよな?そんな人と人とのつながりを保つていきましょう。「遠くの親戚より、近くの他人」とはよく言ったものです。もちろん遠くにいる身内も頼れるかもしれませんが、とつさのときには近所さんに頼れるといいですよ!

ポスター掲示にご協力いただける方募集しています。宜しくお願ひします!



がとうございます。賑岡地区内の設置個所は、次のとおりです。

【プランター設置個所(賑岡地区内)】  
(株)大月自動車学校(募金箱設置)・神宮橋バス停・賑岡診療所(募金箱設置)・(株)WIZnet第2工場・上畑倉公民館・福祉工房アイサービス(募金箱設置)・山口館(募金箱設置)・森屋荘(募金箱設置)・西奥山公民館前バス停・山の都福祉会(募金箱設置)・浅利公民館・タイムリー・東京電力駒橋制御所・ゆりヶ丘集会所前ロータリー・神倉公民館

《順不同・敬称略》



困ったとき、あなたは誰を頼りますか?

**絆**

「遠くの親戚より近くの他人」ということわざにあるとおり、いざという時に頼れるのはご近所さんです。住民同士、お互いに助け合ってください!

賑岡地区社会福祉協議会  
大月市大月町大月1-1-1  
0264-23-2001 (大月市社会福祉協議会内)



# 協社地区賑 住民相互の ささえあいや 見守り活動 推進しています!!!

## 地域見守りマップに 取り組んでみよう!!!

【見守りマップとは】地域の「気になる人(支援が必要と思われる人)」とその人への住民の関わりを地図に落とし込み、地域住民の繋がりなどを把握して、その地域の福祉課題等を見出すものです。

【なぜ必要なの?】地域福祉を進めるには、「公助」に加えて「共助」と「自助」が機能しなければ効果的に進みません。公助のみに頼ると制度やサービスの隙間が生まれます。この隙間に対応できるのは、「住民同士の支え合い(共助)」です。

【見守りマップから調べること】

- ・要支援者に誰がどのような事で関わっている?
- ・助けあいのキーパーソン(世話焼きさんなど)はいる?
- ・要支援者は、どのような自助努力をしている?
- ・住民の皆さんが寄り集まる場所はどこですか?(畑、〇〇さんのお宅など)
- ・地域にどのような生活課題がありますか?(高齢化、買い物、交通の便など)

これらを整理して、住民みなで要支援者への新たな支援方法を考えたり、地域の課題を抽出したりします。まずは、ご相談ください!!!

## 近所たすけあい メッセージボード

9月22日(土)に東奥山の福祉工房デザイナーの秋祭りへお邪魔し、「近所助け合いメッセージボード」を設置して、大勢の来場者の皆さんに、近所の助け合いとしてしていることやできそうなことをメッセージカードへ記入していただきました。会場では、たくさんのボランティアが活躍していました。また、ボランティアとして福祉工房へ来場していた市議会議員の小林信保さんが、今回も社協ブースでお手伝いしていただきました。

今後の地区社協活動を進める上で重要なヒントとなり得る、賑岡地区の住民をはじめ、皆さんの素晴らしい声を知ることができ、充実した取り組みになったと思っています。



地域見守りマップに取り組んでいる様子(平成30年9月上畑倉区)

そしてここがポイント!!!...多くのボランティアさんにご協力をいただいて運営することで、ボランティアを育成し、地域福祉に貢献されているんです!!!いつでも地域と施設が互いに育てあえる良い関係であり続けよう!!!



福祉工房管理者池川さん(右1番目)、福祉工房社長小俣さん(右3番目)、市議小林さん(左1番目)皆さん、ありがとうございました。

## 社協活動の先進地視察へ行ってきました。 みんなが支えあう地域に

平成30年11月12日(月)に地区社協の視察研修として、役員の方々が神奈川県小田原市社会福祉協議会へお邪魔してきました。

小田原市社協さんの見守り活動等を中心とした地区社協活動支援のお話に加え、小田原市内でも特に積極的な下曽我地区社協の「きずなチーム」による見守り活動」についてのお話を聞いてきました。この見守り活動は、多くの地域関係者(住民)が関わって、個別の困りごとの解決に向けた取り組みです。各福祉関係法令などで推進している活動そのもので、賑岡地区社協の活動理念の観点からも参考になる活動でした。ここでも、「ふだんのくらしを

あわせにする」が実現されていて、活動に対する地域の役員の皆さんの熱い思いで活動が成り立っていることを実感しました。



## 「私の老後の生き方暮らし方ノート」に取り組んでみよう!!!

2月2日(土)に、60名以上という多くの方々のご参加をいただく中で賑岡地区社会福祉協議会研修会を開催しました。今回は全国社会福祉協議会で提案している「私の老後の生き方暮らし方ノート」を賑岡地区社協向けにアレンジしたものを、参加者の皆さんで実際に取り組んでみました。取り組みに際し、趣旨説明や考察を大月市社会福祉協議会の居宅介護支援事業所介護プラン花さき職員(ケアマネジャー)の上條管理者と金子主任介護支援専門員にお話しただいて理解を深めました。

このノートは、福祉の最大のテーマでもある「その人らしい生き方」を何歳になっても実現するための意思表示のために書き込むものです。また、老後というのは高齢者だけのものではなく、若い方もいざ迎えるものです。今回の研修でも写真のとおり大勢の若い消防団員の皆さんもご参加いただき、とても熱心に取り組んでいただきました。

今後は、これを普及させるべくサロンや老人クラブなど地域ごとに取り組めるよう推進していきます。



参加者の皆さん、大変お疲れ様でした。各地域での積極的な取り組みを、よろしく願います!

